

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 4 号

神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市

今回は、教育課程編成に当たって重視されている、教科横断的な学習についての考え方と具体的な事例を紹介します。

これからの時代に必要な資質・能力を育むためには、各教科等の独自性を生かしながらも、各教科等の関係性を深め「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を重視した教科横断的な学習指導が求められています。

学習指導要領では、生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、教科横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。(以下省略)と示されている。

壺屋小、神原小では、その考え方に基づいて、以下のような実践を行っています。

壺屋小5年生の実践～理科+社会科+特活による教科横断的な学習～ ～理科専科と5年担任による教科横断的な学習の実践～

文責 教務主任・仲宗根先生



←理科の授業での取り組み

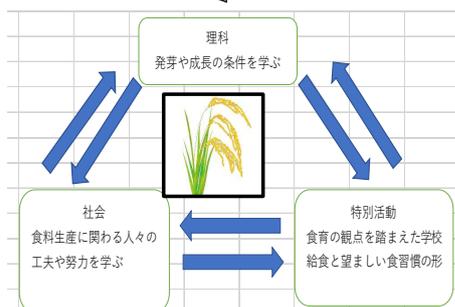
小学校学習指導要領解説「理科」B 生命・地球
(1)植物の『発芽、成長、結実』では、植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら実験観察等を通して、学習に取り組む。

理科を学び終えた後、社会科の授業では、「我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追及・解決する活動を通して、自然条件を活かして営まれていることや国民の食

料を確保する重要な役割を果たしていること等を理解するための指導を行っている。同じ稲の苗を活用し、2教科の目標の視点から取り組んでいく。

また、小学校学習指導要領 特別活動2内容(2)エと関連付けながら、実った稲穂をどうするのか、理科や社会で身に付けた知識を活用しながら、根拠を基に話し合いをさせていきたい。

関連する内容をつなぐ
仕組み、イイね!



↓社会科の授業で稲作体験



理科で知識を学び、社会科で生活と結びつけて稲作体験を行い、収穫した米をどうするか、特別活動で話し合う学習は スゴいね。

神原小では、6月の「平和を考える月間」で、以下の取り組みをしています。

神原小6年生の実践 総合+道徳+特活+社会科+国語+音楽+行事)

单元名 ・ ・ 神原っ子へ伝えよう 平和への願い

多くの教科等で「平和」をテーマに、考え、話し合い、共同実践する各学年の活動はダイナミックだね！！

各
学
習
内
容
の
各
教
科
等
の

- | | |
|----|--|
| 総合 | ○沖縄戦の豆知識
○本の読み聞かせ「つるちゃん」
○DVD視聴「火垂るの墓」
○伝えたい事例の収集 |
| 道徳 | ○折り鶴に込めた願い ○ウクライナ支援についての講話 |
| 特活 | ○平和集会と音楽発表会についての学級活動 |
| 社会 | ○憲法と私たちの暮らし(平和主義について) |
| 国語 | ○「時計の時間と心の時間」(言語活動の設定) |
| 行事 | ○講話「戦争経験者の証言」糸満平和祈念公園への遠足 |
| 音楽 | ○音楽発表会6/26(日) ・ ・ 学んだことを発表する場 |

身に付けさせたい力 ・ ・ 知識、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度

※神原小では、児童に身に付けさせたい力を次のように捉え、取り組んでいます。

主体的に取り組む態度

「平和」をテーマにした学級活動や全学年の代表委員会で、テーマ決めを行い、合意形成の力や強調性を高め、自ら考え、主体的に行動する力を育む。

知識

思考・判断

表現

戦争に関する本の読み聞かせや憲法についての学び、平和に関する歌の鑑賞等の学習を通して、言語能力や情報収集能力を高め、多面的・多角的に考える力の基礎を育む

「りゅう PON」やタブレットを活用した平和学習や戦争経験者の講話を通して平和について考えたり、平和集会の企画・実践を通して、情報活用能力や問題発見・解決能力を育む

音楽発表会で「平和や国際問題、仲間、思いやり」をテーマにした楽曲の演奏、学紹介文の作成、音楽発表会の企画・実践、学びの総まとめを通して共感力や協働する力の基礎を育む

担当…田中先生へのインタビューより

Q この企画を思いついた理由は？

A 音楽専科の私は、校務分掌が平和学習担当なので、6月の行事…平和学習と音楽発表会をつなげて、教科横断的な学習として取り組もうと考えた。

Q 他の学年の取り組みは？

A 他学年でも、平和、福祉、地域などのテーマで総合の授業や各教科等で取り組んでいる。音楽発表会では、平和や思いやり、国際理解などのキーワードで、楽器演奏や合唱だけでなく、学年・学級で作った詩の群読も行うことになっている。

